



目次

常任委員会報告 2

議決結果・賛否一覧 6

議員提出修正案可決、請願・陳情議決結果
一般質問通告一覧① 7

一般質問通告一覧② 8

一般質問通告一覧③、行政視察報告 9

議員連盟活動報告、編集室より 12

〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX.0266-73-7936 茅野市議会 検索

発行 / 茅野市議会 編集 / 議会広報部会 印刷 / 株式会社 オノウエ印刷 <http://www.city.chino.lg.jp/>

議会改革を推進

■先進地視察 埼玉県飯能市議会（平成27年10月29日）

茅野市議会議員全員が参加し、埼玉県飯能市の視察を行いました。



飯能市議会では、情報通信技術（ICT）活用による議会改革を推進し、平成24年4月よりタブレット端末を導入しています。飯能市議会では、タブレットの導入により議会内のペーパーレス化が図られ、会議等の資料を印刷する必要がなくなったことから、年間約210万の費用を削減しました。また、タブレットは議会内の情報伝達、災害等の緊急連絡、政務調査活動などにも使用されています。

視察においては、議員全員がタブレット端末を操作し、茅野市議会での活用の可能性を実感しました。

■タブレット端末導入を求め、市長に要望書を提出しました。（平成27年12月9日）

【要望書 要旨】 議会へのタブレット端末の導入について（お願い）

私ども茅野市議会は、本年9月に「議会活性化委員会」を設置し、議会改革を進めるための検討を始めました。改革の一つとして「議会へのタブレット端末の導入」を早期に実現すべき事項として掲げています。タブレット端末導入は、ペーパーレス化による紙使用量の削減や、議案等資料作成の事務手続き（印刷、製本、配布等）を大幅に削減できるなど、多くの利点があるものと思われます。議会活動の円滑かつ効率化のため、財政構造改革中の大変厳しい時期とは存じますが、来年度以降の課題と位置づけ、ご検討、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。



写真提供：市民新聞

12月定例会より

茅野市議会12月定例会は、11月27日(金)から12月21日(月)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など24議案が審議され、23議案は、原案のとおり承認、可決、1議案は修正可決されました。

また、請願2件、陳情2件が審議され、陳情1件が趣旨採択となりました。意見書案は1件が可決されました。

各議案の一覧及び議決結果は、6ページをご覧ください。また、審査経過及び結果は、常任委員会報告のページをご覧ください。

常任委員会報告

予算決算委員会

委員長 山岸 正衛

予算決算委員会に付託された案件は、補正予算3件。

議案第90号

平成27年度茅野市一般会計補正予算(第4号)について

この議案は、歳入歳出



予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億2006万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ、239億877万4千3百円とするもの。

主な歳出

- ・ひまわり作業所等の移転新築に伴う建設用地の購入費等、ひまわり作業所等移転新築事業費1328万2千円の増。

- ・ビーナスラインを基軸とした広域観光事業が、地方創生先行型の上乗せ交付分として採択されたことから、平成27年11月13日に設立された信州ビーナスライン連携協議会に対する茅野市負担金350万円の増。

議案第91号

平成27年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ205万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ6億968万3千円とするもの。

主な歳出

- ・平成26年度の保険基盤安定負担金が確定したことによる、後期高齢者医療広域連合納付金の補正増。

議案第92号

平成27年度茅野市下水道事業会計補正予算(第1号)について



この議案は、資本的支出の予定額を154万2千円増額し、19億1119万4千円とし、当初予算で定めた職員給与費を154万2千円増額し、1億583万9千円とするもの。

主な歳出

- ・人事異動に伴う職員給与費の補正増。

総務環境委員会

委員長 望月 克治

総務環境委員会に付託された案件は、議案10件、請願2件、陳情1件。

議案第77号

茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について



この議案は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報の取扱いにおける違反行為には罰則が適用されることになったが、茅野市個人情報保護条例には罰則規定

がないため、特定個人情報以外の取扱いの違反行為には罰則規定が適用されない。これを改善するため、茅野市個人情報保護条例の一部を改正し、罰則規定を設けるためのもの。

施行日は、平成28年1月1日。ただし、第37条過料の規定は平成28年4月1日。

質問

「罰則規定の根拠は。」

回答

「この条例の罰金及び過料の金額は、行政機関等個人情報保護法の規定を下回らないことが適当であると考えている。ただし、同法の57条において、過料は10万円以下となっているが、地方自治法では上限が5万円のため、この条例の第37条では過料を5万円以下とした。」

議案第78号

茅野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例について



この議案は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、個人番号の利用及び特定個人情報の提供について定めるためのもの。

施行日は、平成28年1月1日。

議案第79号

茅野市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、茅野市公の施設指定管理者選定審査会の委員の定数を変更するためのもの。施行日は、公布の日。

質問

「女性や社会保険労務士を入れて、5人を7人にするという改正だが、なぜ8人ではないのか。増員を2人とした根拠は。」

回答

「意見が割れた場合、奇数であれば採決を取ることができると考え審査会に提案をしたところ、これについて意見はなかったため、7人とした。」

議案第80号

茅野市地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例について

可決

この議案は、各施設の使用料を改定するためのもの。

①基本方針に基づく使用料の算出、②消費税増税分の転嫁、③激変緩和措置、④市民と市民以外について使用料に差をつけること、以上4点を踏まえて、各施設の使用料の改定を行う。

施行日は、平成28年4月1日。

質問

「回数券について、福祉温泉は11枚つづりだが、すずらんの湯は利用促進のために12枚つづりになっている。福祉温泉についても市外利用者に対して12枚つづりにすることはできないのか。」

回答

「そのような検討はされなかった。」

質問

「温泉施設は、観光客が利用するため、市民が利用できないことがあるとのことだが、具体的にどのような状況なのか。」

回答

「縄文の湯に、観光客が観光バスで訪れることがあり、観光バスが駐車していると、市民は混雑していると判断し、利用を諦めることがある。」

質問

「市民は施設整備にかかる経費を税金として負担しているが、市民以外の方は負担していないため、整備費にかかる部分を使用料で負担していたかどうかという考えだが、観光振興や利用促進、収益を上げたい施設などは、使用料の差をつけていない。差をつける明確な基準は何か。」

回答

「体育館や野球場、陸上競技場は、夏場は混雑して市民も利用できない

状況である。これらの施設は、市民の健康増進のための施設であるため差を設ける。」

【討論】

【反対意見】

「施設整備は、市の独自財源だけで行うわけではない。そのため、使用料に差をつけることは納得できない。温泉の利用料については、市民の理解が得られていない。市民の声を聴いて進めることが必要と考えるので反対。」

賛成意見

「市の施設であるため、市民と市民以外の方の使用料について、差を付けることは当然と考えるので賛成。」

議案第82号

茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、教育長の給料の変更と、農地利用最適化推進委員の報酬を新たに規定するためのもの。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員長の職務を教育長が担うこととなったことによる給料の増額と、農業委員会等に関する法律の改正により、新設された農地利用最適

化推進委員の報酬を定めた。

施行日は、第1条の教育長の給料の増額規定は、公布の日。第2条の農地利用最適化推進委員の報酬規定は平成28年4月1日。

議案第83号

茅野市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、地方公務員災害補償法施行令の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

施行日は、平成28年1月1日。適用日は、平成27年10月1日。

議案第84号

茅野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

施行日は、平成28年1月1日。適用日は、平成27年10月1日。

議案第85号

地方自治法等の規定により出頭した関係人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。
施行日は、平成28年4月1日。

議案第86号

茅野市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、地方税法施行規則の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。
施行日は、公布の日。

議案第89号

茅野市泉野大日影財産区管理会条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、財産区管理委員の定数を7人から5人に変更するためのもの。

施行日は、公布の日。適用日は、公布の日以後初めて行われる財産区管理委員の選任の日。

請願7

安全保障立法の廃止を求める意見書の採択を求める請願

不採択

採択の意見

「戦争は、戦力を高めれば抑止できるものではない。この法は、自衛隊に交戦権を認めるものではなく、自衛隊員に武器の使用を認めるものとなっている。憲法との整合性もなく、その成立の過程について民主主義を全うしていない。よって廃止すべきである。」

「抑止力として防衛に必要な法案であると理解している。今後の動向により判断したい。日本は立憲主義、民主主義が守られている国であり、民意によって国の方向が決められると確信している。」

不採択の意見

「抑止力として防衛に必要な法案であると理解している。今後の動向により判断したい。日本は立憲主義、民主主義が守られている国であり、民意によって国の方向が決められると確信している。」

請願8

「安全保障立法の廃止を求める意見書」の採択を求める請願

みなし不採択

請願7と同一趣旨であるとして不採択。

陳情18

消費税10%への増税中止を求める意見書の採択を求める陳情書

不採択

採択の意見

「消費税を8%に上げたとき景気は低迷した。また、消費税が上がっても、税収は増えず社会保障には回らなかった。この現状で増税すれば経済はさらに冷え込み、税収は上がりず財源不足となる。」

不採択の意見

「増税分は、年金・子育て・医療、介護など社会保障の財源となるため、やむを得ない。生活弱者へは

軽減税率、臨時交付金等により十分対応されている。」

経済建設委員会

委員長 樋口 敏之

経済建設委員会に付託された案件は、議案8件。

議案第70号

財産の処分(売却)の変更に
ついて

可決

この議案は、平成26年議案第65号において議決された事項を変更するためのもの。宮川ひばりヶ丘の元市営住宅予定地第1区画の面積を変更し、面積の増加に伴い、売却価格を変更前の27万3491円に変更する。

質問

「昨年12月定例会の説明において、道路の法面は、盛土の計画であったが、宅地造成後は、L型擁壁となっている。このことについて、安全上問題はないか。」

回答

「L型擁壁は市が工事を行うときにも使用する。規格にあったものなので、強度に問題はない。」

議案第71号

市道路線の認定について
(宮川ひばりヶ丘地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により、市道認定をするためのもの。(宅地開発に伴う市道路線の認定。)

質問

「認定する道路は、元市営住宅予定地内を通る形になっている。元市営住宅予定地は、第1工区と第2工区に分けられているが、第1工区と第2工区を道路でつなげることは、当初から計画されていたのか。」

回答

「この道路の一部は、元市営住宅の団地内通路であり、新しく造成された部分は、当初からこの通路に取り付けるように計画されていた。」

議案第72号

市道路線の廃止について
(宮川ひばりヶ丘地籍)

可決

この議案は、道路法第10条第3項の規定により市道路線を廃止するためのもの。

議案第73号

市道路線の認定について
(豊平上場沢地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により、市道認定をするためのもの。(宅地開発に伴う市道路線の認定。)

質問

「認定される道路の除雪は市が行うのか。」

回答

「市では、各集落を結ぶ幹線道路の除雪を行っている。この道路は、市の除雪対象の道路ではないため、除雪は、近隣の方にお願ひすることになる。」

議案第74号

市道路線の廃止について

(豊平上場沢地籍)



この議案は、道路法第10条第3項の規定により、市道路線を廃止するもの。

議案第76号

茅野市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例について



この議案は、農業委員法が改正され、農業委員の選出方法を選挙制と市長の選任制の併用から、市議会の同意を要件とする市長の任命制に変更するためのもの。また、新たに農地利用最適化推進委員が新設されたことに伴い、茅野市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるためのもの。

施行日は、平成28年4月1日。

質問

「農業委員の選出基準と女性の登用についてどのように考えているのか。また、農地利用最適化推

進委員の定数の根拠は。」

回答

「農業委員は定数18人であり、内訳として、各地区から推薦される方が15人（うち10人は認定農業者または認定農業者に準ずる者）。市内全域を対象にした公募により、中立な立場の方1人、女性を2人とする。農地利用最適化推進委員9人は、中大塩地区を除く9地区に一人ずつと決めている。」

議案第87号

茅野市公共下水道事業受益者負担金等に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、白樺湖下水道組合の公共下水道事業計画区域を茅野市の公共下水道事業計画区域に編入することに伴い、経過措置を追加するためのもの。

施行日は、平成28年4月1日。

議案第88号

茅野市下水道条例の一部を改正する条例について



この議案は、白樺湖下水道組合の公共下水道事業計画区域を茅野市の公共下水道事業計画区域に編入することに伴い、汚水排水使用料の激変緩和措置等の経過措置を追加するためのもの。

施行日は、平成28年4月1日。

質問

「激変緩和措置は5年間であるが、どのように激変緩和措置の期間を定めたのか。また、この件について関係者へはどのように説明したのか。」

回答

「今回の料金改定で、汚水排水使用料が、7%から上限57%まで上がる。激変緩和措置の期間は、1年間に10%を超える値上げは、使用者にとつて厳しいと考え、1年間10%以下に抑えた。地元説明会では、使用料が一挙に上がるのは厳しいので、その点は考慮してほしいとの意見はあったが、反対意見は出なかった。」

福祉教育委員会

委員長 伊藤 玲子

福祉教育委員会に付託された案件は、議案2件、陳情1件。

議案第75号

公の施設の指定管理者の指定について



この議案は、地方自治法第244条の2第3項の規定により、茅野市運動公園国際スケートセンター（ゴルフ練習場）及び茅野市営プールの指定管理者を、株式会社パティネレジャーに指定するためのもの。

指定の期間は、平成28年4月1日から平成33年3月31日まで。

質問

「指定管理料の内訳は。」

回答

「スケートセンター、ゴルフ練習場に係る指定管理料が年額約3300万円、プールに係る指定管理料が年額約1650万円となる。経済状況の変化等があった場合は、指定管理者と別途協議をする。」

議案第81号

茅野市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例について



この議案は、勤労青少年福祉法の一部改正により、同法の勤労青少年ホームに関する規定が削られたことから、関係規定を整備するためのもの。

施行日は、公布の日。

陳情17

介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情

趣旨採択の意見



「介護保険施設の人員配置基準を利用者2人に対して介護職員1人以上に引き上げるとするのは妥当なのか。介護労働者の処遇改善と人員配置基準の改正を国の責任で行うことは必要だが、受益者負担も必要で、全てを国費で賄うということはいかがなものか。」

12月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	松山 孝志	丸茂 岳人	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	両角 秀喜	両角 昌英	伊藤 勝	伊藤 玲子	樋口 敏之	篠原 啓郎	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢 千登勢	小池 賢保	
69	平成27年度茅野市墓地事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	財産の処分(売却)の変更について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	市道路線の認定について(宮川ひばりヶ丘地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	市道路線の廃止について(宮川ひばりヶ丘地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	市道路線の認定について(豊平上場沢地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	市道路線の廃止について(豊平上場沢地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	公の施設の指定管理者の指定について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	茅野市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	茅野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	茅野市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	茅野市地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例について	総	修正可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	茅野市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	茅野市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	茅野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	地方自治法等の規定により出頭した関係人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	茅野市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	茅野市公共下水道事業受益者負担金等に関する条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	茅野市下水道条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	茅野市泉野大日影財産区管理会条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	平成27年度茅野市一般会計補正予算(第4号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	平成27年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	平成27年度茅野市下水道事業会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	10 専決処分の報告について																				
請願	7 安全保障立法の廃止を求める意見書の採択を求める請願	総	不採択	●	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
8 「安全保障立法の廃止を求める意見書」の採択を求める請願	総	みなし不採択																			
陳情	17 介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情	福	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 消費税10%への増税中止を求める意見書の採択を求める陳情書	総	不採択	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	- 議案第80号 茅野市地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例に対する修正案		可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 意見書案の提出について(介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決日は、12月21日の議会最終日(但し、議案第69号、70号は、11月27日の開会日に即決)

議員提出の修正案を可決

議案第80号茅野市地区コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例について 議員提出の修正案を可決

市側が提出した公共施設の使用料を改定する条例改正案に議員4人が修正案を提出し、賛成多数で可決しました。改正案は市内37施設の市民以外の使用料を1.5倍に引き上げるものですが、市民以外の方が多く利用される温泉施設利用料を値上げする点について「急激な値上げとなり緩和策が必要」とし、修正案は6,000円の回数券11枚つづりを12枚つづりに増やしました。温泉施設利用料は現行1回400円ですが市民以外は600円に引き上げられます。回数券を購入すると実質1回500円で利用できます。市民以外の方にもできるだけ気持ちよく使っていただきたいという趣旨です。市側は修正案の可決を尊重し受け入れました。

平成27年12月定例会 請願・陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	議決結果	
				委員会	本会議
請願7	安全保障立法の廃止を求める意見書の採択を求める請願	安全保障立法は、「立憲主義」と「民主主義」を無視し、国会議員の数の力で可決された立法であり、認めるわけにはいかない。安全保障立法の廃止を求め、国に対し意見書の提出を求めるもの。	茅野市9条の会	不採択	不採択
請願8	「安全保障立法の廃止を求める意見書」の採択を求める請願	安全保障立法は、「立憲主義」と「民主主義」と国民の民意を無視し、国会議員の数の力で可決された立法であり、認めるわけにはいかない。安全保障立法の廃止を求め、国に対し意見書の提出を求めるもの。	新日本婦人の会 茅野支部	みなし 不採択	みなし 不採択
陳情17	介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情	超高齢社会を迎える中で、介護労働者の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題となっている。国も介護職員の賃金改善のため対策を講じているが、実態として、介護の現場は、「低賃金・過重労働」のままである。介護現場で働くすべての労働者の処遇改善を図ることを求め、国に対し意見書の提出を求めるもの。	長野県医療労働組合連合会	趣旨 採択	趣旨 採択
陳情18	消費税10%への増税中止を求める意見書の採択を求める陳情書	消費税を10%に上げることについて国民の7割以上が反対している。「消費税増税頼み」のやり方は「増税不況」を繰り返し、財政再建には役立たない。消費税増税を中止することを求め、国に対し意見書の提出を求めるもの。	消費税をなくす 茅野の会	不採択	不採択

茅野市の課題を問う！

平成27年12月定例会の一般質問は、12月9日、10日、11日の3日間行われ、17人の議員から26項目についての質問が市側に出されました。

12月定例会一般質問通告一覧

氏名	件名	要旨
篠原啓郎	1 マイナンバー制度導入準備とマイナンバー通知状況及び対応について	(1) 行政事務の効率化と市民の利便性向上などの準備状況について (2) 個人情報番号、納税者番号の性質を有するマイナンバーの不正使用や漏えい防止など危機管理の仕組みについて (3) マイナンバー（個人番号）の通知状況及び対応について
山岸正衛	2 健康寿命を延ばすことについて	(1) 特定健診について (2) 人間ドックについて (3) 健康熟年大学について (4) 認知症初期集中支援チームについて

※一般質問通告一覧は受付順となっています。

12月定例会一般質問通告一覧(続き)

	件名	要旨
矢島正恒	3 茅野市地域創生総合戦略について	(1) 茅野市人口ビジョンの設定について (2) 茅野市総合戦略の基本目標と各施策・事業の推進について (3) まちづくり懇談会での意見・要望等について
	4 茅野市の観光振興について	(1) 観光客数及び観光消費額の状況と今後の取組について (2) 茅野市総合観光パンフレットの表題と、4エリア(八ヶ岳、蓼科、白樺湖・車山、縄文の里)の連携・協力による観光振興について (3) 市観光協会の役割と取組について
両角昌英	5 御柱祭に向けた取組について	(1) 準備状況と近隣市町村との連携について (2) 前回の御柱祭後の全体反省会で出た意見の取組状況について (3) 市民から上がっている要望に応えることについて (4) 観光協会と連携した取組について
	6 市内行方不明者の早期発見について	(1) 年間の行方不明者の人数と発見までの平均時間について (2) 行方不明者の情報の共有化を図ることについて (3) 近隣の市町村でも情報が共有化されるシステム作りについて
伊藤玲子	7 認知症対策について	(1) 新オレンジプラン等の取組について
	8 峠の茶屋、杖突峠周辺の自然・観光・歴史等が持つ価値や意義等について	(1) 峠の茶屋の売却検討に至った経過について (2) 伊那市との共同で杖突峠周辺の地域資源を活かし、両市の発展や観光につなげていく価値や意義について (3) 信州三景とと言われる杖突峠からの眺望権を公が担保する意義について
小尾一郎	9 住民の要望・意見を処理する手順について	
	10 「諏訪中央病院の機能強化事業」について	
樋口敏之	11 永明小中学校整備計画について	(1) 永明小中学校の建替計画について (2) 地域との連携について
北沢千登勢	12 小規模校のメリットを生かす方策について	(1) 小規模校の統廃合等はないという認識でよいか (2) 小規模校のメリットを生かした広域交流について
	13 総合博物館・図書館の運営について	(1) 総合博物館が今後取り組む具体的な運営について (2) 図書館に指定管理者制度を導入しない理由について
14 発達支援センターの機能充実について		
伊藤正陽	15 憲法を生かす市政運営と憲法公布70年について	(1) 庁内で憲法はどう扱われているか(義務教育の無償の条項を、市政運営にどのように反映させているか) (2) 来年は憲法公布70年の年に当たるが、市民向けの記念の催しを考えているか
	16 「改正介護保険法」施行での問題点と今後の対応について	(1) 今年4月からの「改正介護保険法」施行に伴う現状と打開の方向・施策について (2) 2.27%の介護報酬引下げに伴う介護保険サービス事業所への影響について (3) 「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施について
伊藤勝	17 姉妹都市交流について	(1) 姉妹都市や観光プロモーション協定を結んでいるあわら市との交流の現状について (2) 現状の課題と今後の展開について
	18 森林の間伐と植林について	(1) 森林の間伐と植林の現状について (2) 観光面としての活用の考えについて (3) 茅野市林業振興ビジョンの方向性について
宮坂武男	19 ビーナスラインを含めた観光の活性化について	(1) 観光課と観光協会との連携について (2) 観光課による観光関連団体のマネジメントについて (3) 白樺湖観光組織の立上げについて
丸茂大	20 茅野市民プランの進捗状況について	(1) 第4章第3節 工業の振興について (2) 第6章第8節 広域行政の推進について
両角秀喜	第六次産業化へ進む農業経営者への支援と、観光型農業による地域おこしについて	(1) 農業経営者への支援について (2) 六次産業化へ向かうための課題について (3) 道の駅・農産物直売所の必要性について (4) 観光型農業による「地域おこし」について
小池賢保	22 18歳選挙権について	(1) 18歳誕生日と選挙運動・投票日の関係について (2) 学校における、選挙制度や主権者教育による当事者意識の育成について (3) 高校生でない18歳以上の人たちへの対応について (4) 若い年代層の投票率向上への対応について
長田近夫	23 若年層の自殺対策強化について	(1) 自殺の現状について (2) 心の健康問題について (3) 学校の対応について (4) 子育て世帯への対応について

12月定例会一般質問通告一覧(続き)

		件名	要旨
松山孝志	24	諏訪東京理科大学の存廃について	(1) 県のバックアップの度合いについて (2) 学生が行きたくなる大学とするには (3) 更に進む少子化の影響は (4) 存廃の決め手となるものは何か (5) 何故、水面下での検討であったのか
	25	市内サッカー場の有り様について	(1) 市内サッカー場の現状と利用状況について (2) 利用上の問題点は何か (3) 運動公園陸上競技場内のフィールドの管理状況について (4) 市外からの利用状況について
望月克治	26	茅野市地域創生総合戦略の来年度予算への反映について	(1) 平成28年度地方創生予算の地方への交付基準と、申請方法について (2) 地方創生予算獲得に向けて、茅野市地域創生総合戦略による企画事業をどう結びつけていくのか

行政視察報告

市議会では、市政の発展と向上のため、常任委員会ごとに視察目的を定め、先進的な取組をしている自治体等を訪問し研修を受けています。

詳細は…

茅野市
ホームページ



茅野市議会



行政視察報告

からご覧ください。

総務環境委員会

(参加者)

委員長	望月 克治
副委員長	小尾 一郎
委員	矢島 正恒
委員	両角 昌英
委員	宮坂 武男
委員	小松 一平

実施日 平成27年10月14日(水)から
10月16日(金)まで

群馬県上野村 森林資源を活用した地域 内循環型経済について

再生可能エネルギーの普及において先進地である上野村では、ダム
の固定資産税が無くなる前に自

立するため、地域の資源である森林に目を向け、その活用で地域内経済循環の仕組みづくりを進め、150人の雇用を生んでいる。
◎茅野市での展開は
茅野市も森林を抱えており、その活用の参考としたい。



群馬県上野村 視察

栃木県那須塩原市 農業用水路を活用した小 水力発電によるビジネス モデルの構築

那須塩原市の那須野ヶ原土地改良区では、農業用水路を活用した小水力発電により、農業者の水路管理費の負担を軽減している。

◎茅野市での展開は
ほとんどが平地であり、水の流れが緩やかな那須塩原市での取組は、中山間地における水の流れを考慮すると茅野市においても農業用水路の活用の可能性は大と感じる。



栃木県那須塩原市
那須野ヶ原土地改良区 小水力発電施設 視察

東京都奥多摩町 小水力発電、バイオマス ボイラーの導入について

奥多摩町では、町営温泉施設へのバイオマスボイラーの導入で、東京都が行っている杉花粉対策により切り出される杉材を、燃料として地域内で活用している。

◎茅野市での展開は
バイオマスボイラーは寒冷地で

ある茅野市にとって森林資源を活用した熱源として有効である。

建設経済委員

(参加者)
 之勝人喜郎 正
 敏 岳秀啓
 樋口 藤茂角原山
 長 伊丸両篠山
 委員 員 員 員
 委員 員 員 員
 副委員 員 員 員
 委員 員 員 員

実施日 平成27年11月17日(火)から
 11月19日(木)まで

■大分県豊後高田市 定住支援について

豊後高田市は「住みたい田舎ラ
ンキング」で3年連続ベスト3の
中に入り、全国から注目されてい
る。取組は、住環境整備、婚活事
業、子育て支援と教育支援を中心
に百を超える定住支援策を実施し、
行政全体の施策が定住者を増やす
ことにつながっている。

◎茅野市での展開は

近年定住支援の拡充がされては
きたが、まだまだ民間に任せてい
る面が強い。移住定住や少子化対
策においては、地方創生の流れに
乗り、行政が強い意志の下施策を
考え、予算措置をした上で主導し

て行かなければいけない。豊後高
田市の全ての課を巻き込んだ取組
は大変参考になった。

■熊本県阿蘇市

観光施策及び旅館組合・ 観光協会・市の連携に ついて

阿蘇市は世界に誇る「阿蘇山」
や、雄大な阿蘇の自然景観、のび
やかな田園風景など、特色ある資
源と、九州の東西・南北の交通ポ
イントという広域ポジションを活
かした観光振興を進めている。ま
た、豊富な湧水を観光に結びづけ
ると共に阿蘇五岳周辺観光地と連
携を取り、見るだけの観光から体
験する観光に力を注いでいる。

◎茅野市での展開は

市内宿泊施設が一丸となり基本
になる旅行商品を企画し、その上
で各施設でしか出来ない、オンリ
ーワンを目指す事が重要である。
体験を取り入れた、着地型の観光
商品の開発が急務である。

■鹿児島県鹿児島市

観光政策及び観光統計の 活用について



熊本県阿蘇市 視察

鹿児島市は全国的に名の知れた
観光地であり、観光戦略や、状況
分析は先進的なものが多々ある。
インバウンドの取り組み、スポー
ツ合宿、修学旅行の誘致において
も積極的である。九州新幹線全線
開業に伴い霧島市、指宿市、南九
州市と連携した観光プロモーション
を行っており、観光客数は開業
以降増加傾向にあり、26年度は前
年比0・9%増の336万6千人、
外国人観光客数は前年比30・9%
増の12万6312人で共に過去最
高を記録した。

◎茅野市での展開は

まずは観光に関するデータを把

握・分析し、強みと弱みを自覚し
たうえで、導き出されたデータに
基づき施策を行う事が必要である。
茅野市において観光が上向くため
には、地域の魅力を積極的にアピ
ールする姿勢と市民一人一人が、
歴史、自然環境、風土等素晴らしい
財産を再認識する事が必要と考
える。

教育会 社員 福委

(参加者)
 子志陽夫 登賢
 玲孝正 近
 藤山 藤田 千
 伊松 伊長 北
 長 員 員 員
 委員 員 員 員
 副委員 員 員 員
 委員 員 員 員

実施日 平成27年10月21日(水)から
 10月23日(金)まで

■佐賀県武雄市

ICT活用教育の推進・ 「官民一体型」小学校の 創設について

武雄市は、教育の目玉として、
スマイル学習とプログラミング教
育、また民間事業者である花丸学
習会と連携し、この塾の指導法を
学校教育に導入している。

◎茅野市での展開は

スマイル学習は、全ての小中学校の全児童・生徒にタブレット端末を持たせ、電子黒板との併用で授業を行うというものである。始めたばかりのため、その有効性は確認されていないのだが、子どもたちには喜ばれているとのこと。導入時の経費負担や、先生方の負担増が課題となっているが、プログラミング教育と学習塾の指導法は有効と感じた。

■佐賀県武雄市 図書館への指定管理者導 入について

武雄市図書館は、先駆的にCC C（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）運営を取り入れている。2階の学習コーナーでパソコンを開いている人、スターバックスのコーヒーを飲みながら本を読む人、乳母車に子どもを乗せたまま選書している親子など、多くの人で賑わっていた。しかし、来館者の割に少ない司書の数や臨時職員による業務など、文化の拠点としての図書館の役割や意義を担保できて

いるのか危惧も感じた。

◎茅野市での展開は

武雄市は、人口5万人弱の市であるが、図書館の年間来館者数が80万人余あり、莫大な経済効果もたらされていることや、市民の満足度が83%という評価、コンシエルジュ（執事）と称される職員への対応や笑顔にも人を引き付けるものがあり、茅野市において学ぶべき点が多々あると感じた。

ただし、現在いくつかの自治体において、指定管理者制度導入については慎重な議論が必要である。



佐賀県武雄市 図書館 視察

■長崎県諫早市 こどもの城事業について

平成21年3月に開設され7年目

に入った。この間、毎年10万人を超える来館者がある。市の中心部（市役所のある場所）から10キロメートル程離れた白木峰という高原の中に設置されており、約10ヘクタールの敷地に屋外の遊び場と、延床面積約2800平方メートルの屋内施設を有している。総事業費は16億9千5百万円。将来都市像の土台づくりプロジェクトの一つとして『子どもたちが生きる力を培う』ことを目的につくられている。

この城の愛称は『どわくの』（どきどき・わくわく・のびのびの意味）。『ふらつと来れば遊ぶとこ（申込不要）、ねらつて来ればふかいとこ（申込要）』という運営方法を取っている。現状は子どもと子育て世代の大人から各種の研修、セミナー等にも利用されている。

◎茅野市での展開は

こどもの城が大勢の人に利用されているのは、ボランティアの活動によって支えられている部分が大きいと感じた。

茅野市においてこどもの城的機能を持つこども館・学童クラブ等で、生きることの主眼を置いた活動メニューの導入や、男性指導員がこどもに関わることの重要性も感じた。

また、多目的に使用できるスペースが用意されていることや、研修等の企画立案について相談できることから、開館から5年で利用方法が多岐にわたっている。茅野市にもこのような場所があっても良いのではと思えた。



諫早市こどもの城 視察
屋内施設に掲げられていた標語

健康へ農業と観光をつなげる議員連盟

茅野市街から車山にかけて、ビーナスラインの視察を行いました。



茅野市を含むビーナスライン沿線の5市3町と観光協会及び県は、八ヶ岳中信高原国定公園を縫うように走るビーナスラインの魅力を結集し、観光や産業の創出、圏域全体の活性化を図る目的で「信州ビーナスライン連携協議会」を発足させました。ビーナスラインの魅力を再認識するため、「健康へ農業と観光をつなげる議員連盟」所属議員10名と観光課職員で路線の視察を行いました。

この路線は茅野市と美ヶ原高原を結ぶ約75kmの延長で、降った雨が日本海か太平洋かを決める分水嶺と交差や並走を繰り返す天空の観光道路です。

茅野市街を抜けると、沿線左側から国宝「土偶」縄文のビーナス、右側からは国宝「土偶」仮面の女神が出土しており、縄文文化に思いを馳せながら標高1,250mの蓼科湖を目指します。蓼科湖周辺は蓼科高原として名高く、湖の直下に直径7mの円筒分水装置があり、農業用水の歴史に触れることができます。さらに蓼科山山麓を走りスズラン峠を越えると標高1,416mの白樺湖へ達します。白樺湖はビーナスラインの中間点に位置し、アクティブに遊ぶ観光地として名高く、湖周辺には旧石器時代の遺跡もあります。白樺湖を過ぎると野焼きが行われる草原地帯が続き、標高1,925mの車山の麓に至ります。車山は、ニッコウキスゲで名高く、山頂の車山神社では7年に一度「天空の御柱」の曳行が行われます。

この路線は歴史・文化・湖・草原・草花・眺望など四季折々の環境を演出し、まさしく女神の道と呼ぶにふさわしく周辺地域の観光振興の一役を担う重要な観光の基軸として期待が膨らむ路線です。



編集室より

平成27年12月定例会後の「ちの市議会だより」をお届けします。12月定例会においては、市長提出議案24件と議員提出議案1件の計25件の議案、また請願2件、陳情2件を審議しました。議案審査においては、市の公共施設利用料の改正案をめぐって議員の賛否が

分かれ、結果、内容について一部修正し、修正可決となりました。請願・陳情審査においても賛否が分かれたものがあります。審議状況については、「常任委員会報告」及び「議決結果と各議員の賛否一覧」の頁をご覧ください。また、議長を除く17名の議員による一般質問の要旨、各常任委員会の行政視察の報告なども記載しましたのでご覧ください。

今、茅野市議会では、議会活動がより市民に伝わるよう検討しています。これからも努力していく所存です。

伊藤 正陽
議会広報部会

